

建設部会全国合同会議意見交換会（要旨）

1. 日時；平成 24 年 9 月 21 日（金） 15：30～17：00
2. 会場；大阪国際交流センター 2 階 さくら東
3. 内容；
意見交換会 15：30～17：00

●本部活動報告

- ・高木統括本部建設部会長の開会挨拶のあと、統括本部、北海道本部、東北本部、北陸本部、中部本部、近畿本部、中国本部、四国本部、九州本部の全国 9 本部から、活動報告がなされた。

（1）統括本部；西村副部会長

統括本部の活動報告として建設部会の組織説明。技術懇談会（有志）の紹介。体制の紹介、建設部会幹事会は 3 名の理事および 1 名の監事、4 名の参与と 24 名の幹事計 32 名で構成。建設部会の幹事は本部の常設委員会などに参加して頂いている。

建設部会の活動は、講演会、見学会などであり、東日本大震災については討論会の開催、水産部会との意見交換会を開催している。今後の展望として、建設部会のパワーアップ、地域本部との連携強化。テレビ会議システムを活用した講演会の開催などを考えている。

（2）北海道本部；森 事務局長

北海道本部には建設部会はないので、北海道本部全体の説明。組織率 31%。おおむね 3000 名くらいの規模だが会員 1000 名ならず。北海道の特徴として農業部門が多いが圧倒的なのが建設部門である。4 つの常設委員会を持つほか特定の研究テーマを持って研究もしている。

H23～24 活動 道内 4 高専との連携・協力協定、人材育成、安全安心の促進、10/26 に「東日本大震災に学ぶ」セミナー開催。専門部会はないが部会より委員会 5 つの研究会が主体。今後の主な事業は 12/7 の東北 3 地域本部技術士交流研修会である。来年は北海道で全国大会が開催される。

（3）東北本部；菅原事務局長

震災から 1 年半。研修会や建設部会 ITS 研究会や見学会を開催している。研修会「もうすぐ 1 年～日本国のパラダイムシフトと土木技術者への期待～」現地見学会を開催し被災地、地下鉄など見学して頂く予定。

（4）北陸本部；西村部会担当

北陸本部も建設部会としての独自組織はない。本部、防災委員会などで関連活動を実施している。防災委員会を設置、青年技術士委員会の講演会、見学会（港湾工事の作業船）（再生エネルギー：太陽光発電所の見学）電気事業として自治体が設置した初めての事例紹介。北陸地方整備局との意見交換会の実施（局長以下）、新潟福島豪雨への対応、地域防災セミナー、北陸地方の災害と防災、減災発表会などを実施した。

（5）中部本部；紀伊副部会長

定期例会は年に 4 回で各回 20～30 名くらいの参加者である。通常例会と異なりワンコインの特例会も実施、オヤジ倶楽部（夜の特例会まじめな会）東海 4 県会員との連携なども実施中。東日本大震災への支援活動（南相馬市に安全な野菜を送る野菜支援委員会）。やる気満々なのでいつでも声かけしていただきたい。

（6）近畿本部；森田副部会長

定時総会にあわせ阪神電鉄講師による阪神なんば線建設についての講演会を実施した。恒例行事である震災対策技術展は 6 月に 100 名規模で開催のほか「災害対策セミナー in 神戸」は 1 月に 60 名規模で開催。JR 大阪駅見学会 2 回で 25 名。震災復興支援活動の報告、セミナー、見学会の実施な

どである。

(7) 中国本部；乗安企画総務委員長

建設部会は未組織である。建設部会設置の認識は低いが、すべての委員会、部会活動の見直し中。旧四国支部を分離した結果、建設部門が多いが他部門もけっこう活動している。主な活動としては、専門部会を中心とした活動、資質向上などに寄与。防災委員会など地域本部らしい活動を指向している。機械部会は本部機械部会との共催セミナー開催。すべての部会をつくる理念に基づき、国交省、地方自治体との連携強化、建設コンサルタンツ協会とも共同開催している。

(8) 四国本部；作道事務局長

四国本部会員数 418 名。建設部門は正会員で 72% である。四国は建設部門の比率が高い。H23 の活動報告として、防災現地見学などを紹介。そのほか四国に多い「ため池」について東日本被災地の藤沼ダムを現地踏査し報告書作成中であり、土木の日を中心とした建設フェアに出展する。これらにより知名度向上に努めている。

(9) 九州本部；杉本部会長

建設部会は九州本部の 4 つの部会のうちのひとつであり今年度から組織した。建設部門と応用理学部門で構成しており、九州全土で 850 名あまり。H24 からは 8 名の幹事で運営。今年度も見学会の実施を展開。熊本県八代市の荒瀬ダム撤去の見学会を準備中。中小河川の災害記録の掘り起こし活動、情報発信を目指す。

●意見交換会

・壇上のパネラーとして、統括本部建設部会より高木部会長、西村副部会長、近畿本部建設部会より山田部会長、森田副部会長の 4 名が壇上に上がり、会場との意見交換がなされた。

- WEB 会議システムを使った講演会は他部門でも実施されており、本日の全国合同会議で各地域本部との連絡体制も整ったので実施に向けて進めていく。
- 東北復興に関して、新しい防災の方法などあるがなかなかアピールする機会がない。技術士会の活動を通じてアピールの機会があればよいと思う。
- 技術士会の外向き PR については、今後工夫が必要ですね。
- お互いに顔が見える活動を上げていくには、地域本部の HP をリンクするなど将来的には全国の建設部会員が参加できるような設備、仕組みの検討が必要と感じる。
- すぐできること今後の課題とすることに分けて整理してみる。WEB 会議はできるところから始めて行きたい。統括本部と各地域本部の HP の共有化についても進めたい。また、技術士のノウハウや技術の PR は重要であり、今後の検討課題としてどのように進めるのか考えていきたい。地域における機会均等も同様に考えていきたい。

●まとめ

・全体総括が高木部会長からなされ、閉会挨拶が山田部会長からなされ閉会した。

以上